

医療安全管理委員会にて承認された適応外使用医薬品について

当院の医療安全管理委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	低カリウム血症に対する高濃度注射用カリウム製剤の使用
実施責任者	弘前大学医学部附属病院 医療安全管理委員会
対象者	当院で治療を受ける患者で、低カリウム血症を呈した患者
承認日	2022年9月13日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>低カリウム血症に対する治療は内服でのカリウム補充を行いますが、重症の場合や内服困難な場合は注射剤を使用します。注射用カリウム製剤は、添付文書において、40mEq/L以下に希釈し20mEq/時を超えない速度、1日投与量として100mEq以下で使用することとされています。しかし、臨床現場においては輸液量を絞る必要がある場合や急な補正が必要な場合に高濃度で使用する場合があります。当院では、成人は、救急部で輸液濃度1mEq/mL、ICUで輸液濃度200mEq/L、1日投与量200mEqまでを認めています。小児において、NICU、小児科は、輸液濃度0.5mEq/mL、ICUにおいては、1mEq/mLを認めています。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>カリウム補充により、予想より血清カリウム値が上昇することがあります。その場合、不整脈や心不全をきたす恐れがあるため、必ず患者に心電図モニターを装着して使用することを定めています。また、頻回に血清カリウム値を確認し、異常が確認された場合は速やかに減量または中止を検討します。安全対策として、輸液ポンプ・カリウム注射液専用シリンジポンプを使用することを定めています。低カリウム血症が改善され次第、高濃度注射用カリウム製剤の使用は終了し、添付文書で定められた使用法へ移行します。</p>
お問い合わせ先	弘前大学医学部附属病院 医療安全推進室 代表 0172-33-5111 (内線5175)

以上